

## 寄附者設定テーマ事業 事業報告シート

団体名	特定非営利活動法人さぶみの
テーマ名	子育てや社会教育の推進
事業名	フリースペースさぶみ
事業費(うち助成金額)	385,200 円(370,000 円)



### ■事業目的

本事業は、当 NPO が運営する保育園の卒園児が、学校に行けなくなり家に引きこもりがちになったと知り、地域における学校と家庭以外の子どもの居場所の必要性を感じ始めた事業である。生き方にも多様性を帯びている現在、既存の学校とは異なる形で子どもの学びを提供する場所も求められている。従来の学校では自分を表現できずに生きづらさを感じている子どもが、休息を得られ、安心して自主性を発揮できる環境の中で、自然体験や生活体験ができたり世代や経験の様々な人との交流が図れる居場所を提供する。それを通して子どもが社会とのつながりを維持、または広げ、他者とかかわりながら生きる力を育むことを目的とする。

また、地域住民と子どもの交流を通じて、地域で細々を受け継がれてきた自然と共に生きる暮らしの知恵や技術を子どもたちに伝える役割も担う。

### ■事業内容

旧左鏡小学校である左鏡コミュニセンタを毎週一日を開放し、子どもが安心してやりたいことがやれる場所を提供する。一緒に昼食のおかず(おにぎりは各自持参)を作って食べることで、最後に片付け・掃除をすることをフリースペースさぶみの生活リズムとして位置付けているが、その他の決まりは、みんなが安心安全で気持ちよく過ごせるようにという観点から、話し合いを通して確認している。公民館活動と連携し手しごと喫茶を実施し、地域の大人との交流の機会を提供する。参加は本人の意思による。

長期休みは学童保育事業と合同で行い、学校や学年を超えた子ども同士が関わることができる。当学童保育は、前述した保育園の卒園児や関係者の子どもと左鏡地区の子どもを主な対象としているため、フリースペースさぶみを利用する子どもも馴染みのなる友だちと会える機会となっている。

### ■事業成果と今後の展望

7 月からの実績としては、ほぼ毎週女兒 2 名が来館し身体を動かしたり、工作をするなど子どもの自主性に沿った活動が行われた。フリースペースさぶみの存在を知った保護者と子どもが見学に来るなど新たな利用もあった。

また、町教育委員会も関心を高め、不登校児童のいる家庭への紹介、町内の全小中学校へのチラシ配布の協力を得た。さらに、フリースペースさぶみで過ごすことを町内に在籍小中学校の出席日数としてカウントされることも決まった。

今後の展望としては、フリースペースが週一回の特別な日ではなくて、子どもの生活の中に位置づけられるようにするためにも開放日を増やすことを目指しているが、収益事業ではない本事業の人件費の確保が課題である。また、現在利用している子どもの安心と自由を保障しつつも、学校以外の学びの場や居場所を求めている他の子どもたちとも緩やかにつながりを広げていく。